

自動運転貨物けん引車両の販売を開始

— 空港での実証実験を皮切りに、
港湾や工場内建屋間での自動運転による貨物運搬を実現 —



自動運転貨物けん引車両 CarriRo® Tractor (*)

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒)は、この度、自動運転技術を用いた貨物の輸送の実現に向けて、EV トーイングトラクターベースの最新モデル CarriRo® Tractor の提供を開始いたします。

さまざまな業界で課題となっている労働者不足の解決策として、また昨今の人手を介さずに業務を行うニーズの高まりに対し、貨物運搬の自動化についても期待が高まっているという背景があります。そこで ZMP はコンピューター制御が可能な CarriRo® Tractor を開発し、ZMP の自動運転の頭脳となる IZAC®を搭載、最大25tの貨物けん引を行う自動運転車両として提供します。

その第一弾として、丸紅株式会社(以下、「丸紅」と ZMP の合弁会社である AiRO 株式会社が国土交通省航空局主催の空港制限区域内の自動走行に係る実証実験に参加、ZMP が開発した自動けん引車両 CarriRo® Tractor を活用し、成田国際空港および関西国際空港で貨物運搬の実証実験を今年度実施します。

また、本 CarriRo® Tractor は空港にとどまらず、工場敷地内での建屋間の部品や材料の輸送、また港湾でのコンテナ輸送といったシーンでの自動化を中心に提供して参ります。

【EV トーイングトラクター CarriRo® Tractor 製品ページ】

<https://www.zmp.co.jp/carriro/carriro-tractor>



【価格情報】

CarriRo® Tractor (自動運転けん引車両)一式 3,600 万円～

-その他、自動走行用マップの作成や現地調整等の初期費用、オペレーション用監視システムおよび保守費用などが別途必要となります。

【自動運転貨物けん引車両 概要】

| | |
|----------|---|
| 使用車両 | ZMP 製 CarriRo® Tractor |
| 全長×全幅×全高 | 3.3m/1.23m/1.9m |
| 車両重量 | 3,250kg |
| 最高速度 | 非けん引時:20km/h けん引時:15km/h |
| けん引能力 | 25t |
| 自動運転の方式 | 自律型(インフラに手を加えずに自動運転) |
| 基本機能 | 自己位置推定、障害物認識、車両制御 マニュアルモード・自動制御モード切替 等 |

(*)別途ルーフ上にセンサーモジュールを搭載予定です。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボリューション事業部

TEL:03-5844-6210 FAX:03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



DeliRo™



RakuRo™



PATORO™



RoboCar® SUV



RoboCar®
Mini EV Bus



CarriRo®



CarriRo® Fork

「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①RoboCar®&センサーイノベーションは人の移動を担う RoboCar®シリーズと RoboVision®他各種センサー、②CarriRo®クリエイションはモノの移動を担う物流支援ロボット CarriRo®, 無人フォークリフト CarriRo® Fork、③IZAC®ロボリューションは、自律移動技術でお客様の事業へ革新をもたらすサービス、④RoboTest®ソリューションは、走行テスト・データ取得および解析サービスを提供いたします。2020 年の人とモノの移動の無人運転化レベル 4 の実現に向け実証実験を重ねています。日本初の歩道走行を目指す DeliRo™, RakuRo™ は、量産化へ向けた事業パートナーの募集を開始しております。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。